

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
設置者名	学校法人国際医療福祉大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
3年課程	看護学科	夜・通信	94単位	10単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://shioyans.iuhw.ac.jp/assets/files/curriculum/kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
設置者名	学校法人国際医療福祉大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.iuhw.ac.jp/about/yakuin/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役会長	2025.5.20～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社特別顧問名誉会長	2025.5.20～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長・主 筆代理	2025.5.20～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社取締役頭取	2025.5.20～4年以内に 終了する会計年度のう ち最終のものに関する 定時評議員会の終結の 時まで	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
設置者名	学校法人国際医療福祉大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
『授業計画(シラバス)』 (刊行物) 『学生便覧』 (刊行物)	
年度末までに、各授業科目の実施時期、目標と学習内容と整合性、学習方法、評価方法、テキスト、参考図書等について、講師等の意見も参考に全教員で検討し追加、修正を行っている。 修正後、刊行物として作成し、新年度4月、学生に配布している。なお、『授業計画(シラバス)』はホームページにて公表。	
授業計画書の公表方法	https://shioyans.iuhw.ac.jp/curriculum/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
「入学前の科目の履修等」 『学生便覧』(刊行物) 学則第24条 「科目の評価・単位の認定」 『学生便覧』(刊行物) 学則第23条	
各授業科目の評価は、『授業計画(シラバス)』に記載された評価方法にそって実施している。その評価結果に基づき、学校運営協議会の議を経て科目ごとに単位取得の認定を行う。単位取得の認定は学則第23条第3項の評価基準に則り行う。 入学前の科目の履修は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に規定されている教育内容に則り、学校運営協議会において履修した学習内容を評価し、本校の教育内容に相当すると認められた場合には、履修したものと認定する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業科目ごとの成績評価を点数(100点満点)に換算し、取得した全科目の平均点を算出している。それにより学生の成績の分布状況を把握する。 本算出方法については、学生の成績結果を保護者あてに通知(10月、3月)の際、周知している。なお、ホームページにて公表。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://shioyans.iuhw.ac.jp/assets/files/overview/seiseki.pdf?202408
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「卒業の要件、卒業の認定」 『学生便覧』 (刊行物) 学則第25条、第26条の規定により、学則第22条別表に定める科目の単位を修得した者および出席日数が出席すべき日数の3分の2以上である者に対して、学校運営会議を経て卒業を認定している。 なお、ホームページにて公表。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://shioyans.iuhw.ac.jp/assets/files/overview/gakusoku.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
設置者名	学校法人国際医療福祉大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iuhw.ac.jp/about/ir/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.iuhw.ac.jp/about/ir/index.html
財産目録	https://www.iuhw.ac.jp/about/ir/index.html
事業報告書	https://www.iuhw.ac.jp/about/ir/index.html
監事による監査報告（書）	https://www.iuhw.ac.jp/about/ir/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療		専門課程	看護学科(3年課程)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単 位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3	昼	107	66 単位	15 単位	23 単位	0 単位	3 単位
年		単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		113 人	0 人	10 人	107 人	117 人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

「授業計画(シラバス)」（刊行物）、「学生便覧」（刊行物）各授業科目の実施時期、目標と学習内容の整合性、学習方法、評価の方法、テキスト・参考図書等・講師の意見なども参考に、全教員参加の会議において検討し、追加、修正を行っている。（年度末）修正後刊行物として作成し、新年度4月には新入生に配布、当校のホームページで一般の方にも公表している。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業科目ごとの成績評価を点数（100点満点）に換算し、取得した点数の平均点を算出している。それにより学生の成績の分布状況を把握する。年2回（10月、3月）保護者宛て学生の成績結果を通知。その際、学生および保護者には本算出方法を周知している。

修了・進級の認定基準

（概要）

「卒業の要件」「卒業の認定」『学生便覧』（刊行物）学則第22条別表に示す科目の単位を修得した者に対して、学校運営会議の議を経て卒業を認定している。単位修得及び卒業認定は、細則第19条に基づき認定する。

学修支援等

（概要）

細則第16条に基づき、試験に不合格の場合は、再試験を受けることができる。病気やその他の理由で試験を受けることができなかった場合は、追試験を受けることができる。未履修の単位は、在学年限内で再履修ができる。実習評価が不合格の場合は、細則第18条に基づき、再実習を行うことができる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	2 人 (6.3%)	29 人 (90.6%)	1 人 (3.1%)
（主な就職、業界等） 国際医療福祉大学塩谷病院、国際医療福祉大学那須医療センター、国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園、国際医療福祉大学成田病院、国際医療福祉大学熱海病院、国際医療福祉大学市川メディカルセンター、那須赤十字病院、済生会宇都宮病院、国立病院機構宇都宮病院、那須北病院、新小山市民病院、大澤台病院			
（就職指導内容） 1・2年生は11月に関連病院説明会を実施。さらに翌年の3月に外部講師の就職ガイダンスを実施。また、就職合同説明会についてのポスターを掲示。求人票などを図書室に配置。また、学年担当による定期的な進路調査、個別の面談を数回実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 各学年の国家試験担当で年間計画を立て、1年生から国家試験に向けて対策を行っている。模擬試験も1年生から実施。3年生になると5月より月に1度のペースで模擬試験を実施。模擬試験の結果を踏まえ、個別の学習指導をしており、担当が密にかかわることにより、成績が上がり国家試験の合格につながっている。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	6 人	5.5 %
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個々の学生へのタイムリーな対応を心掛け、留年させないように再試験や再実習を実施し、単位修得を支援している。随時、保護者を交えての面談を行い、個々にあった進路の決定などを適切な対応を行う。 また、公認・臨床心理士によるカウンセリングや学年担当による定期的な面談・相談を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	200,000 円	500,000 円	200,000 円	その他は施設費として
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項） 学校独自の国際医療福祉大学看護師奨学金制度（給付型） 一般奨学金 1口30万円×3口、特別奨学金 1口60万円×3口				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://shioyans.iuhw.ac.jp/overview/evaluation.html		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
評価委員会の構成員は、臨地実習施設関係者、卒業生、非常勤講師、保護者の4名で年3回の委員会を開催し、学校自己点検表の教育課程、教授学習評価課程など8つの大項目に沿って総合評価を行う。提出された評価結果は、学校運営会議に報告し、学校としての改善方法策等について検討する。		
第三関係者評価の委員		
所属	任期	種別
多機能型事業所いなほ /KAKINENASHI株式会社	令和6年4月 1日～ 令和8年3月31日	実習施設関係者
国際医療福祉大学塩谷病院	令和6年4月 1日～ 令和8年3月31日	非常勤講師
国際医療福祉大学塩谷病院	令和6年4月 1日～ 令和8年3月31日	卒業生
	令和6年4月 1日～ 令和8年3月31日	保護者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://shioyans.iuhw.ac.jp/overview/evaluation.html		
(備考)		
第三者評価未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://shioyans.iuhw.ac.jp/